

北小だより

～えのきごころ～

高崎市立北小学校学校通信

2011(H23). 9. 7. 水

No. 54 (文責:山崎 貞幸)

えのきのように やさしく 強く やりぬく子

苦難の道をあえて進む勇氣

- ☆ 今日は、9月7日なので、あえて、「苦難」について話したいと思います。急なお話でもあります。
- ☆ 世の中を、楽（らく）をして生きていこうと考えても殆ど人は苦しみながら生きていくことが多いのではないのでしょうか？人生を楽しんで生きていくことはできるかもしれませんが、自分で働きもしないで楽をしようと思ってもそんなに世の中は、甘くありませんね。
- ☆ ただし、生を受けて、誕生してから幸運に恵まれ、苦勞知らずで育ってきたことのある人はいるかもしれません。「恵まれて」大きくなったのは、親や周りの家族、関係してきた人たちのおかげであることは間違いありません。感謝の気持ちを忘れずに、今後において、恩返しするつもりで努力してもらいたいと思います。
- ☆ 自分さえ努力し頑張っていれば、「幸せ」は誰にだって来ると思います。ただし、努力しなくてはなりません。自分の能力を信じて努力している者に「不幸」は来ません。「苦難」は一種の人生の「壁」でもあります。その壁を乗り越えるたびに人類は進化してきました。
- ☆ 今や今までに経験をしたことがない未曾有の自然災害が起きています。この苦難の道をあえて乗り越えようとする勇氣ある人間に今の子どもたちも育ってほしいと願うばかりです。地道な努力を続けて復興へのお手伝いをしている皆様に心から感謝申し上げます。



◇ 9月5日(月) 学校運営協議会・企画委員会との合同会議が開催されました。主に、10月の学校行事等の取り組みについて協議いたしました。(裏面に概要を掲載)

さわやかな天気誘われて！

雲ひとつない真っ青な大空に吸い込まれそうになりました。久々の好天気にも心も浮かれてしまいましたが、自然に、両手を合わせて日本中の人たちの幸せを祈るばかりです。

台風12号の被害が広がっています。(死亡・行方不明者が百名を超えています)

9月企画委員会・学校運営協議会合同会議について(概略)

◇ 協議事項から

- ① 10月の行事予定……各学年の体験学習の方面・引率関係（実施日等内容は各学年から児童・保護者へ連絡。）では、以前の秋の旅行とは趣が違って、発達段階にあわせた体験学習の充実を図り、子ども一人一人が学びの工夫をしたり、体験したり、考えたりして学習力をはぐくむことがねらいになります。
- ② 第1回学校評価（自己評価）について……事前に夏休み直前に、児童と保護者並びに教職員へのアンケート調査結果に基づく意見感想の集約がありました。保護者意見では、35点の貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。今後の運営や経営に活かしていきたいと思っています。課題の1つは、「集団下校」についてです。まず、全校的には時期的な面や緊急性を考慮してなるべく早めに子どもへの周知徹底を図る機会を設けて年間3回くらいは行いたいと考えています。（安全部が今後提案する。）低学年の集団下校については、夏休み前でひとまず区切りを付けて、交通安全を考慮してそれぞれにグループ（原則として同じ方面に2人以上）で下校する。午後2時半から3時半頃の約1時間足らずの時間を地域の「北小の子ども見守り隊」（仮称）の方々の下校の様子を見ていただくことを考えています。今後、区長会や防犯、青少協の方々にも協力要請を働きかけていきますので、よろしく願いいたします。具体的な内容については後日、地域回覧版で回したいと思っています。「地域人材の活用」（学習支援との連携）とともにご提案申し上げます。2つ目は、校庭美化について、雑草が目立ちますので、定期的に学校の「草むしり」を地域とともに行いたいということです。来年度からはもう少しPTAともタイアップして考えていきたいものです。3つ目は、「開校110周年記念式典」の運営全般についてです。セレモニーと子どもたち（学年ごとの出し物）による「音楽会」等との進行の方法についてです。今後の検討課題となります。

北小つ子ががんばったで賞！栄光をたたえます！おめでとうございます！

☆ 第58回柔道大会

(群馬県道場連合会主催：9月4日開催)

○ 小学2年男子 中量級の部

準優勝 (2-2)

○ 小学4年男子 軽量級の部

3位 (4-1)